

近隣幼稚園と受験幼稚園のどちらがいいか

私立幼稚園には近隣幼稚園と、いわゆるお受験を経て入る「受験幼稚園」があります。受験幼稚園の場合、保育料などは近隣幼稚園とさほど変わらないところも多いのですが、1口10万円、3口以上の寄付金を求められる場合や送り迎えのお母様の定期代、お付き合いの費用など、見えない費用がかかります。

系列の小中高をもつ附属幼稚園ではなく、3年後(2年後)に在園児のほぼ一〇〇パーセントが国立・私立小学校を目指して受験する受験幼稚園は、小学校受験をするのがわかっているので、事前に面接練習、お行儀などの指導をしてくれる場合もあります。

近隣幼稚園では、私立小学校を受験することはおおよげにできにくいケースも少なくないようですが、みんなが受験をする受験幼稚園であれば、いろいろな相談事もしやすいかもしれません。また、園の先生方は、志望校にどのようなタイプの子供が過去に合格しているかがわかっているので、普段の子供の飾らない姿から見たアドバイスがもらえることもあります。

しかし、情報交換が多くできる反面、隣の子がライバルとなることもあるので、お互いの関係に悩むお母様もいます。とくに合否が決まった後は気まづくなることもあるでしょう。

もう一つ知っておいていただきたいことは、受験幼稚園といっても、受験指導が専門の幼児教室とは違って、受験のための細かいペーパー指導などがあるわけではありません。受験指導がほとんどの受験幼稚園もあります。事前に確認しておくことが必要です。

受験を目的としない近隣幼稚園から小学校受験をする場合、試験日近くになってから、あるいは試

受験当日に休むと、「受験を考えている」ことがわかってしまう場合もありますが、その点、受験幼稚園ですと、そうした気遣いなしに調整しやすいというメリットはあります。ただ、小学校受験の審査では、「運動会は何が楽しかったですか?」「昨日幼稚園で何をして遊びましたか?」などと聞かれる場合が少なくありません。子供が幼稚園に行ったほうが平常心で過ごせるのなら、安易に休ませる必要はないと思います。

志望校に附属幼稚園があれば、それはチャンスなので子供の様子を見極めて受験するのが良いと思います。ただし、早生まれで理解度が充分でない、まだ母子分離が確立していないといった場合などは、小学校受験も視野に入れ、とりあえず近隣幼稚園に入園し、3年間じっくりと体験を積んだほうが良いこともあるでしょう。子供が幼稚園受験に向いているか、小学校受験のほうが良いか、客観的な第三者の意見なども考慮し決めましょう。

近隣幼稚園の三年保育に入園後、途中で二年保育の受験を思い立つ場合もあると思います。途中で環境や友人を変えるのは、できれば避けたいところですが、三保では難しかったことが、二保ならできようになることも多くありますので、生活態度を整えながら早めに準備なさと良いでしょう。受験幼稚園の中には、3年間は在籍するよう入園時に念書を書いて提出する園もありますので、先のことを熟慮した上で志望園を決めるようにしましょう。

一貫校の附属幼稚園でも内部進学は無条件ではない

全国の公立小学校は約2万2000校あります。その中で関東・関西にある私立小学校の数は、わ

ずか190校に満たない数です。たったの0.7%。東京に限って言えば、公立小学校約1400校に対して私立は約50校です。一貫校の附属幼稚園は、さらに数が少ないのですから競争倍率はかなり高くなります。

三年保育で2〜3歳、2年保育で3〜4歳の子供が受験するのですから、子供の力よりは、親の力が影響することの多い試験です。調査や面接のときだけきちんとしようとしても、雰囲気やちょっとしたしぐさで普段の様子がわかってしまうものです。入園後、親子で困らないためにも毎日の生活を見直して臨まなければなりません。

幼稚園から一貫校で学ばせたいということは、小・中・高、あるいは大学までの間、その学校の教育を受けるということです。一貫教育の良さを十分享受できます。それが一貫教育の最大のメリットです。

一貫校の附属幼稚園といっても、エスカレーター式に系列の小学校に進学できる幼稚園と、内部進学には制約のある幼稚園があります。附属幼稚園からの推薦状があっても確実に小学校に進学できるわけではないという幼稚園もあります。ここ数年は、在園生であっても、小学校への内部進学を目指し、幼児教室に通い準備をする家庭が増えています。外部生と同じ審査を受け、その結果で入学できない場合もあるからです。

このように内部進学状況は異なります。内部進学が多い幼稚園でも、兄弟姉妹が多い年は厳しくなります。このところ、私立の一貫校を希望する家庭が増えていて、「内部進学はほぼ間違いない」とされていた幼稚園でも厳しい状態が見られます。小学校から試験を経て入ってくる子供はそれなりに準備を積んでいます。内部進学といえども十分な準備が必要だということ念頭に置いてください。

難関と言われる附属幼稚園にご縁をいただけるご家庭は、やはりその身内に関係者や卒業者がいる場合が多いのは否めませんが、それは、その幼稚園のことをより深く理解しているということですから当然のこととも言えるでしょう。

願書にその旨を書く欄や志望理由の欄がなくても、その住所や名前を見ただけで園側が、あのご家庭：：とわかる場合もあるということは念頭に入れておくと良いと思います。その中でも「このご家庭に来て欲しい」と思わせる「何か」が感じられる家庭であって欲しいと思います。どんな難関校であつても、必ず初めてご縁をいただくご家庭はあるのですから。

では「何か」というのは：：私立校に通える経済的背景はもちろんですが、その幼稚園・学校に対しての深い理解、家庭に備わった品位、社会適応力など様々な面で幼稚園側が認めるご家庭です。そのほとんどを「願書」「面接」「考査」で見られますので、いかに普段の様子が滲み出る「第一印象」が大切かがおわかりになると思います。

無宗教の場合、宗教系の幼稚園は不利か？

カトリックやプロテスタントなど宗教系の幼稚園を受験する場合、半年〜1年前より教会に通う家庭も少なくありません。

現在、無宗教であつたとしても、実際に宗教のある幼稚園や学校に在籍する家庭の信者のパーセンテージは約15%です。無宗教であつたとしても、真摯に宗教に対して学ぼうとする意思があれば、それほど心配する必要はありません。しかし宗教に本当に理解があるかどうかは重要です。

もし子供が入園したならば、お祈りや賛美歌を覚えてくるでしょう。食事の前には感謝の祈りをささげ、一日の終りには神様と対話をするでしょう。幼稚園児と言えども、子供が自宅でその様子を話した時に、お父様・お母様は内容を理解しようと子供の言葉に耳を傾けることができるでしょうか。その場面を真摯に受け止められないようであれば、宗教に理解があるとは言えないかも知れません。

面接やアンケートで、「宗教についてご理解いただけますか」「宗教についてどう思われますか」「宗教について子供にどのようにお話しにしていますか」「日曜学校についてどのようにお考えですか」などの質問は必ず聞かれると思ってください。

「宗教のことはあまり関心がありません。でも、子供にはいいかなと思って……」という程度の答えでは合格はむずかしいでしょう。

「なぜいいのか」
「どういう点に感銘を受けたのか」

ご両親が以前宗教教育を受けたことがあれば、大人になってからもどこかで影響を受けているのではないのでしょうか。ご両親ともに宗教には関係がなかったとしても、誰が見ているわけではなくても、自己規制ができる、荘厳な雰囲気心地良いと思ったなど、「だから、より深く学びたい」という熱意を伝える必要があります。そのためにも、志望する園が関係する教会に日曜礼拝などがあれば訪ねておく和良好的でしょう。そのような積極的な体験があれば、面接時に伝える内容にも幅が出ると思います。

国立大学附属幼稚園はなぜ人気が高いのか

国立大学には附属幼稚園もあります。検査料は1600円、入園時の納入金が3万円程度、保育料が年7万円程度と、費用は私立の10分の1程度に安く、そのまま附属の小学校にも入りやすいとなれば、当然倍率は非常に高くなり、東京学芸大学附属竹早園舎で約16倍です。

選考方法は検査以外に抽選が加わります。検査で合格しても、次の日には抽選で落ちてしまうこともあるのが国立大学附属幼稚園の特徴です。検査は、親子面接と30分〜1時間程度の行動観察（遊び・平均台など）です。身体検査やアンケートがある場合もあります。待ち時間は長くなることが多いので、折り紙やミニ絵本など用意しておく役に立ちます。

私立幼稚園の検査に比べると、きめ細かく見ている様子はあまり感じられず、自由な雰囲気ですが、「月齢に応じた発達」を遂げているかの確認としての検査なので、子供にあまりプレッシャーをかけず、周囲に影響されないように臨みましょう。また、保護者面接を取り入れている幼稚園もあります。

国立大附属幼稚園の場合、公開行事はとくにありません。低学年と幼稚園を長期スパンで捉え、音楽などにも力を入れ、さまざまな教育活動を行っています。国立の附属幼稚園は、国の研究機関としての役割があるので、設備やカリキュラムが充実している点は魅力的ですが、反面、学生の教育実習が定期的に行われますので、その旨理解しておくとうまいでしょう。

月齢考慮がありますが、通園できる地域制限があり、願書提出時点で保護者と同居していること、園までドアツードアで30分程度であること（車での送迎は除く）などが条件です。

国立大学附属幼稚園の場合、募集要項の配布は例年10月後半の数日間、出願期間は11月初旬の1日

限りと大変短く、時間も厳守とされていますので、よく確かめてから臨みましょう。

国立大学附属幼稚園は、系列小学校には比較的入りやすいのですが、その先の国立大学まで進めるかという点、そうではありません。一貫のエスカラータでないことを知っておいてください。ちなみに系列中学校への進学は、内部審査で合格すれば進学できる場合が多いようです。

二年保育と三年保育、どっちが入りやすい？

10年ほど前までは二年保育が主流でしたが、最近では三年保育を希望する家庭が多くなりました。どちらを選ぶかは、子供の成長の様子をよく把握して決めれば良いと思います。トイレトレーニングは進んでいるか、お母さんから離れてスムーズに活動できそうか、靴の脱ぎ履きや服の着脱、手洗いなど、身の回りのことが自分で出来るかどうか、お友達や教師とコミュニケーションがとれるかどうか……。

幼稚園受験は、まさにこれらの力を見られているのです。入園後に成長することはもちろんたくさんありますが、その月齢に応じたことが身に付いていないと集団生活がスムーズに行えず、泣いて過ごすことにもなりかねません。周囲がみんな三年保育に進むからといって、子供の成長を考えずに入園させてしまうのは考えものです。

三保の面接では、質問中に子供が歩き出す、泣き出す、ご両親や教師に失礼なことを言ってしまう、勝手に室内のものを触るなど、さまざまなアクシデントが考えられます。そのようなことがないよう、普段から場所をわきまえられるように生活するのが望ましいのです。

二保・三保の両方とも募集がある場合は、幼稚園によっては、募集人数の少ない二保や、途中入園のほうが入りやすい場合があります。たまたま海外から帰国するので問い合わせしてみたら定員に空きが出ていて入園できた例もありました。どうしても志望園に入りたいと思われるのなら、三保でご縁をいただけてなくても、準備をしっかり積んで二保でチャレンジしてみると良いでしょう。

志望の園が二年保育からの場合もそうですが、さまざまな道具を正しく使えるように練習し、会話のやり取りがしっかり出来るように一年間準備して入園することは、その子にとっても幼稚園を楽しく過ごすことにつながります。

給食がある、延長保育がある、体操教室がついている、早く手を離れて欲しいなど、お母さんのご希望もわかりますが、どうぞ、お子さんが楽しく幼稚園生活を送れるかどうか、そこを見極めた上で二保か三保かを決めるようにしてください。

念のため知っておきたい私立と公立の違い

首都圏の私立幼稚園教諭の平均年齢は20〜30代ですが、公立幼稚園では、40〜50代が平均といわれています。公立幼稚園では、比較的家庭的でオーソドックスな教育を行っているところが多いのに対して、私立幼稚園では各幼稚園がそれぞれ特色を持っています。独自の教育法や宗教など、力を入れているアピールポイントがあり、一貫校の附属であるということも大きな特色の一つであると言えるでしょう。学費は、公立幼稚園が約1万円（月額）、近隣私立幼稚園は約3万円です。

幼稚園の間は基本的には集団に慣れることが大きな目的になりますが、初等教育を比較すると、公

入試ではどんな考査が行われるか

子どもへの考査は大きく分けて二つあります。集団の中での関り方や社会性を見る「自由遊び」と一人ひとりの発達レベルを見る「個別考査」です。子どもの考査だけでなく、考査中の保護者の様子を見て、「親子の関り方」もチェックされていると思ってください。テスト会場に送り出すとき、迎えるときは心配ですが、あまり心配そうな表情をせず、お子さんを信じてゆったりとした表情で見守ってあげてください。

お子さんの胸に付けたバッジに、考査内容にクリアするとシールやマークをつけ、その数である程度判断される幼稚園もあります。試験が終わった後、在園生が作った工作など、「おみやげ」をいただいてくることもあります。必ず「ありがとうございます」と言えるようにしましょう。考査中、一人のテストターが10分ほど子どもに付きっきりで遊び、その様子や言葉のやり取りでコメントを記入するという方法で考査が行われる幼稚園もあります。

このように、基本的な「自由遊び」と「個別考査」に加え、各幼稚園で重要と思う発達状態を知ることができ、内容をより深く見ているのが幼稚園の試験です。

試験日は、多くの幼稚園で11月初旬に行われますが、10月初旬から考査が始まることもあります。募集要項は半月〜1ヶ月前頃から各幼稚園で配布されますから、なるべく早く入手して、募集人数・考査方法などを確認してください。募集要項が有料の場合もありますが、2〜3部用意しておけば、願書の書き損じに慌てることなくあります。

現在は三保（三年保育）の募集のほうが多くなっています。このため二保（二年保育）の募集人数

は三保より少なく倍率が高くなる場合もあります。三保で20〜50名、二保は若干名〜20名程度が平均です。三保のみの募集も多いので早めに下調べをしてください。

幼稚園受験はご両親の受験と言っても過言ではありません。考査には親子面接、または両親面接があります。時間は10分前後と短いのですが、先生方は何十人何百人の保護者面接に立ち会っています。付け焼刃的対応は通用しません。願書のほかに、事前にアンケートや志望理由などを記入した面接資料を提出する幼稚園もあります。志望する幼稚園を十分調べることが必要です。

幼稚園の考査は、二保・三保とも、主にグループ別に集まって、いろいろな遊具が用意されている部屋で自由遊びをしながら行われます。親子で自由遊びをする幼稚園もあります。母子分離で行われる場合、泣いてしまったり、親から離れられないと極めて不利です。泣くのが悪いのではないのですが、幼稚園側は普段の子供の発達状態がわからないので、判断ができないためです。

幼稚園受験の柱となる「自由遊び」のなかにはさまざまな判断要素がありますが、まず、人との関わりが順調に発達しているかどうか社会性を見られます。普段、会話のやり取りが少なかったり、話していても、ビデオやテレビを媒体とした一方通行では社会性はなかなか育めません。一人で靴や洋服の着脱、片づけ、母子分離、順番を守るなど、自立した行動がとれるかどうかは、幼稚園受験では特に大切です。

調査日のスケジュールはどうなっているか

ほとんどの幼稚園が11月の初旬に1〜3日くらいかけて行われます。集合時間が事前に伝えられるので、その時間の20〜30分前に着くようにすると良いでしょう。あまり早すぎると子どもが飽きてしまい、ぎりぎりではトイレに行く時間もなく落ち着きません。待ち時間が予想される幼稚園の場合、小さな絵本や折り紙など静かに待てるよう何か用意しておく方が良いでしょう（待合室が図書室などで、特に持参しなくてもよい幼稚園もあります。前年の情報などを確認しましょう）。

調査に先行して面接が行われるところは多くあります。その形態も、両親と子どもが一緒に親子面接、子どものみの本人面接と親のみの両親面接が別々に行われる場合、親子一緒だけと質問は親のみで子どもは待っている場合など、いくつかありますが、幼稚園受験で一番多いのは、親子3人での面接です。面接には、ご両親が揃って参加したほうがいいのですが、どうしても父親が参加できないという場合は、その旨、お手紙に丁寧に書き、お母様がその場で試験官に渡すなど対処法はあります。

行動観察を中心とする調査は、1グループ5〜30人で30分から1時間程度行われます。面接室からご両親と離れて調査会場に移動することも多いので、その際にぐずることがないよう、あらかじめ伝えておく和良好的でしょう。

「泣いたら幼稚園に行かれないからね」などとプレッシャーをかけすぎると、子どもの不安が強くなり余計離れられなくなることもあります。「お友達と楽しいことをたくさんするのよ。何をするのかなあ？ あとでお母さんにも教えてね」などと期待が持てるように話すと良いでしょう。当日あわてないためにも母子分離の体験は十分積んでおきましょう。

検査が始まると、名前や年齢を聞かれることも多いので「はい」とはっきり返事をし、しっかり答えられると良いですね。検査が終わった後に本当の姿が出る場合もあります。検査後に、おやつや風船などを渡す幼稚園もあります。「ありがとう」の一言が言える子と言えない子では、やはり差がつかます。普段から家族以外の大人と話す機会をつくりましょう。

レストランでお店の人に「スプーンをください」と自分から話しかける、お店の人に声をかけられたら親が答えるのではなく、自分で答えられるように促すなど、毎日の生活の中で練習してみてください。

検査例 ● その1 (二保)

- ・ 願書提出順に受験番号が決まる (並び始め7時30分、8時30分提出、検査当日9時30分集合)
- ・ 20人1グループで50分程度。ホールを半分ほどにしきっておこなわれ、集団遊びの様子を試験官が座ってチェックをする。個別質問はない。

・ 待合室には、折り紙・クレヨン・絵本・紙などが用意されている。

・ おもちゃは種類が少なく、おままごとセット (果物など細かいものはない)・電車・バケツ・トンネル・粘土など。

・ 上履きの着脱がある。

・ 終わるとすぐに次のグループが控えているが、1グループが帰るまで園長先生が見送ってくれます。

検査例 ● その2 (二保)

- ・ 生年月日順 (並び始め9時50分、提出10時20分)
- ・ 10人1グループ。おままごと・積み木などがあるコーナーに入るときは、靴を脱ぐ。
- ・ 自由遊びの途中で個別質問がある。

・プレートパズルを合わせる。日用品の用途、仲間さがし。いくつかの数の集まりから3個のものを答える。お話を聞いて質問に答える。季節にあった絵をさがす、など。

・検査中に両親にはアンケートがある。(A4判に2問。「公共のマナーについて」「最近嬉しかったことについて」など)

検査例●その3 (三保)

・9月末～10月始めまでの3～4日間に願書を郵送。(健康診断書・歯科診断書必要)

・一次試験(約30分) 個別検査と親子面接(5分)

・個別検査は四角の折り紙を自由に貼る。のりがついた手の後始末・ハンカチの使い方。同じ色・形・数を指示通り持ってくる。本を読んで内容の確認。クレヨンで絵を描く。

一次の結果は郵送。その中に二次試験の日時が指定されている。

・二次試験(約1時間) 親子遊び(親は一人)が20分程度ある。5組から10組1グループで簡単なお絵描きや工作を親子で一緒に行う。運動があるので上履きはゴム底との指定があり、指示に従うこと。親子遊び後、親は部屋を出る。

・集団検査 音楽に合わせてかけっこ。手遊び、先生の動きを真似る、鉄棒など。

・待合室は皆さん静かにお子様と本を読んだり折り紙をしています。緊張した空気ではなく、温かい感じです。

「自由遊び」 ● 幼稚園受験の定番

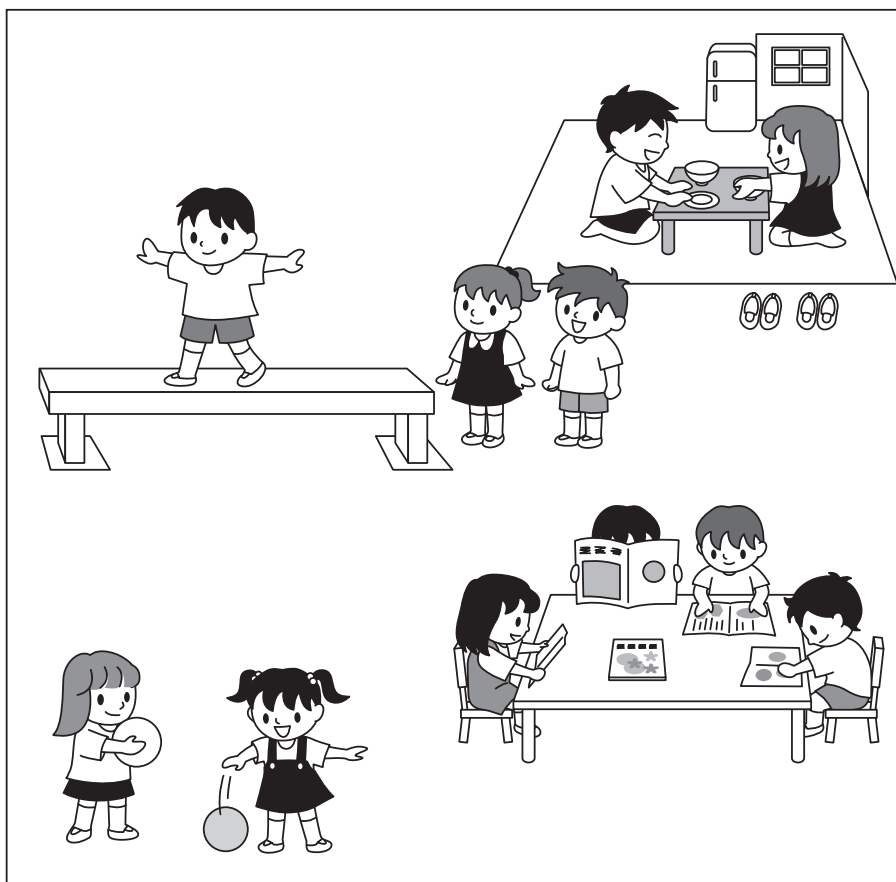
自由遊びのテストは、通常、次ページ以降のイラスト「自由遊び 考查実例①～⑤」のように、大きな会場の中に「おままごと」「コーナーや「積み木」「コーナー、「絵本を読む」「コーナー」などがあり、テストから「好きな場所で遊びましょう」と指示されます。考查の時間は大変短いものですが、この間に、親離れができていないか、集団行動への適応力があるか、自主性が育っているかなどがチェックされます。

多くの場合、自由遊びの最中に、テストから話しかけられます。「何の絵を描いているの?」「今日は誰と来たの?」など、幼児でも簡単に答えられるようなことばかりですが、この一問一答を通して、年齢相応に語彙力が身に付いているか、大人との言葉のやりとりがスムーズにできるかなどもチェックされます。

また、考查実例④のように、テスト会場内に設けられた個室でテストとの個別考查を実施するケースもあります。テストは、考查実例①のイラストではテストが省略されていますが、通常2～7名程度です。

幼稚園受験の月齢ですと、たまたま一緒にグループになった子供の影響で、テストの注意を無視して走り回ったりするなど、予想できない行動に出ることもあります。できるだけ集団の中で子供の姿を見る機会を持ち、事前に知っておくことが大切です。そのためには、模擬試験なども受けておくことが参考になるでしょう。

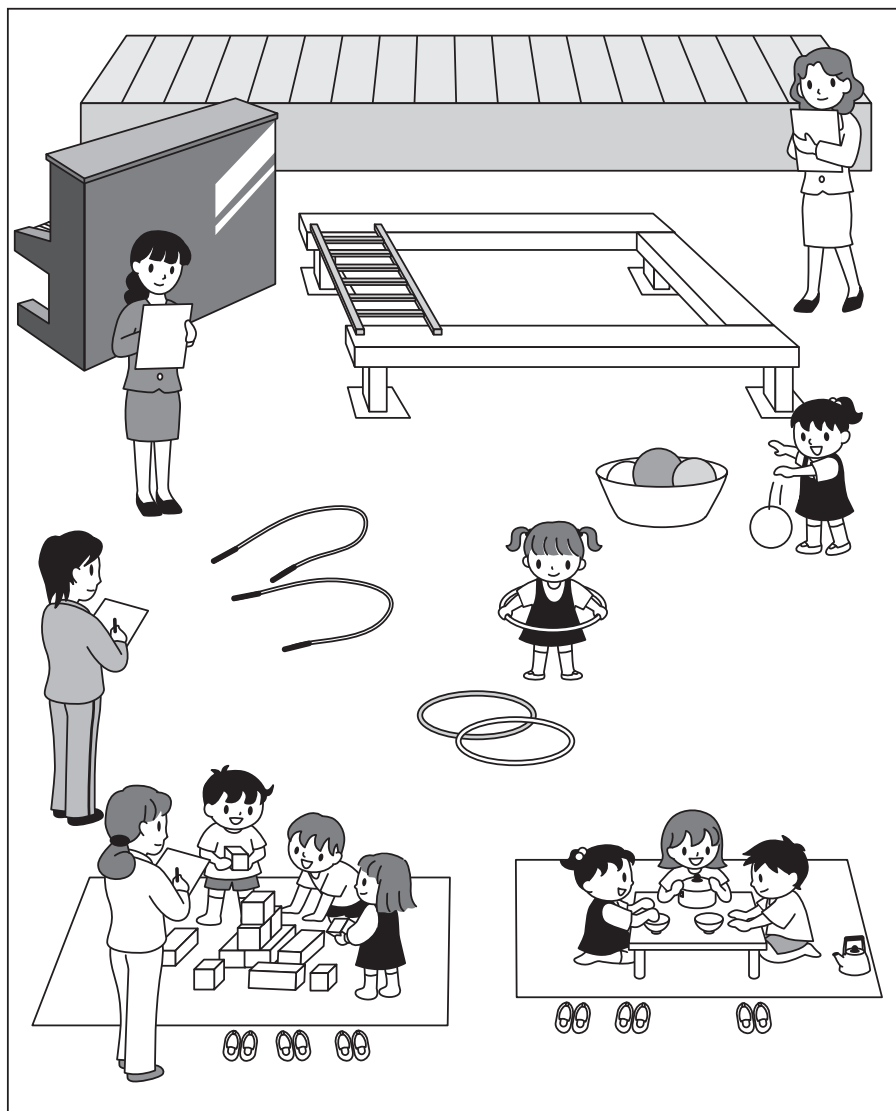
自由遊び考査実例①1グループ10名・30分・テスター5人



★評価ポイント

- *シートの上に靴を脱ぎ揃えて上がる。
- *それぞれ使い終わったら片付ける。
- *平均台から落ちても又チャレンジする。順番を守る。お友達を応援する。
- * 使った道具を片付ける。
- * 絵本は静かに読む。
- * 座る姿勢。
- * 席を立つ時に椅子をしまえる。
- * 他の子供の邪魔をしない。
- ・自由遊びの最中に個別質問。(パズル・物の名称・用途・計数など)
- ・考査中に親はアンケートに記入。(公共のマナー・休日の過ごし方・食事のときの話題など)

自由遊び考査実例② 1グループ10名・30分・テスター5人



★評価ポイント

- * ふざけない。
- * 遊具で危ない遊び方をしない。
- * ものを投げない。
- * 友達と会話ができる。
- * 積み木やおままごとでは、遊び方の提案や誘い合いができる。

巻末データ●その2

わが子の合格力チエツク表

幼稚園受験を目指すにあたって、これだけは確認し、経験しておいて欲しいことを一覧にしました。

「さあ、おぼえましょう！」と意気込んで教え込むのではなく、日々の生活の中に自然に、繰り返し取り入れて見ると良いでしょう。

「こんなことまでできるの？」と思われるかもしれませんが、普段から十分なコミュニケーションを取り、お手伝いに親しんでいればそれほど難しくありません。

もちろん全部「できる」必要はありません。

「これは大好き！」という輝く姿が少しでも増えるよう、子供の現在の様子を把握し、段階を追って楽しみながら力をつけていきましょう。あくまで目安ですので、志望する幼稚園によって異なります。

言語	生活習慣
<p>挨拶 返事 氏名・年齢 自分以外の人の名前</p>	<p>靴の脱ぎ履き 洋服の着脱 スモックの着脱 手洗い ハンカチが使える ハンカチをしぼる ティッシュが拭ける 鼻がかめる ひも結び 順番が守れる 片づけができる 身支度ができる 自分ものが区別できる トイレトレーニング</p>
<p>相手の目を見て聞こえるように言うことができる。 一問一答ができる。 語尾に「です」をつけて言うことができる。 父母の名前、友達の名前をフルネームで言うことができる</p>	<p>脱いだあとに向きを変えて揃えることができる。 ボタン・ホック・かぶり・ズボンから出たシャツに気付き、しまう。 たたむこともできる 水をかけるだけでなく、両手をこすり合わせて洗える。 洗い終わったらその場でポケットからハンカチを出し、たたんでしまえる。 丸めて絞るのではなく、たたんで絞ることができる。 腕を伸ばして端まで拭ける。 自分のティッシュが使える。なければ「ティッシュをください」と言える。 ひもをほどく。3歳児はかた結びができる。 自分よりひとり前の子供がわかる。 はじめにあった所に戻せる。分類分けができる。 風呂上りや寝起きに自分で必要なものを用意できる。 家族や友達のものわかる。 自分でトイレに行くことができる。 下着の上げ下げができる。 後始末がある程度できる。</p>

一口アドバイス

* 朝食が充分でなかったり、緊張して突然「おなかすいた」「のどが渴いた」と言い出すことはよくあります。小さなブリックパックの飲み物や、一口大のおにぎりをラップに包んでバックに忍ばせ、トイレなどで素早く食べさせ落ち着いて考査が受けられたご家庭もあります。

言語	
<p>意思を伝える</p> <p>質問を理解し答える</p> <p>顔と体の部分名称</p> <p>形の認識と名称</p> <p>色の認識と名称</p> <p>物の比較</p> <p>反対言葉</p> <p>乗り物の認識と名称</p> <p>果物・野菜・花・鳥・虫・お話・動物・魚</p> <p>天気の種類と名称</p> <p>絵本・紙芝居・パネルシアター・ペープサートなどをみる</p>	<p>「かして」「どうぞ」「いいよ」「まってるね」など、自分の意思を伝えることができる。</p> <p>好きな動物、色、遊び、食べ物。朝何を食べたか、何に乗ってきたか、おうちにあるおもちゃ、何になりたいか、など。</p> <p>目・耳・鼻・口・眉毛・頭・首・肩・腕・肘・各指・背中・お腹・お尻・膝・かかと、など。</p> <p>○・△・□など、形と名称が一致する。</p> <p>赤色・青色・黄色（三原色は必ず）・緑色・橙色・水色・桃色・黒色・白色・紫色</p> <p>多少・長短・大小などを比較して答えることができる。</p> <p>多い少ない・長い短い・大きい小さい・上下・前後・重い軽い・固い柔らかい・暑い寒い・高い低い・速い遅い・履く脱ぐ・寝る起きる・遠い近い・明るい暗い・立つ座る・開ける閉める・入る出る・曲げる伸ばす・上がる下がる・動く止まる</p> <p>三輪車・自転車・バス・車・タクシー・飛行機・新幹線</p> <p>救急車・消防車・パトカー・船・トラックなど。</p> <p>昔話など主なお話の内容を5種類くらい言うことができる。</p> <p>晴れ・雨・曇り・雪。</p> <p>主だった内容を、5種類くらい言うことができる。</p>

一口アドバイス

* 雨の日のレインコート・傘・長靴の色は、特に派手な柄物や目立つ色でなければ大丈夫です。門や入口でお母様が引き取ることも多いと思います。

* いわゆる茶髪は、面接や試験までに自然な黒髪に染め直しましょう。できれば説明会にも落ち着いた髪形や服装で臨みたいものです。

運動	言語
<p>両足ジャンプ (3歳児)</p> <p>飛び降り 線上歩行 縄跳び 平均台歩行 ボール操作</p>	<p>発表</p> <p>日用品の名称と用途・分台所にあるもの(まな板・包丁・お玉・鍋・冷蔵庫)などの名前、 類 どのように使うか言える。</p>
<p>片足バランスで10秒くらい立てる。 幅跳び。踏み切り線を守り、80センチくらい向こう側に跳べる。 2歳で50センチ、3歳で70センチ位の高さから倒れず着地。 テープの上を外れず歩く。 揺れる縄跳びに触れないよう飛び越す・くぐる。 高さ20センチ・幅15センチくらいの平均台の上を両手を広げて左右の足を交互に出し、歩くことができる。 大人と二人で向き合い両手で投げる・受け取るができる。失敗したら取りにいき、やり直せる。</p>	<p>地面から両足が離れる。 両足とび・片足とび。連続して跳ぶことができる。 ケンパーができる。 その他、日用品(洗濯バサミ・しゃもじ・はさみ・セロテープ・鉛筆・ホッチキス・爪きり・ドライヤー・テレビ・カメラ・電話・帽子・靴下・傘・レインコート・金槌・くぎ・時計・めがね・新聞・絵の具・枕・座布団・雑巾・バケツ・じょうろ・虫取り網・鉄棒 など。 人の前に立って、自分の気持ちや歌、おどりなど発表する機会を多く持つ。</p>

一口アドバイス

* お子様の日焼けは元気そうで良い場合もありますが、ご両親の日焼けは避けたほうが良いでしょう。遅い夏休みで海外に出かけ、その後困ったご家庭もあります。

* お母様のアクセサリーは、控えめなほうが良いでしょう。結婚指輪と控えめでご自身に似合うアクセサリーをご用意ください。面接時は、目は口ほどにものを言いますから、普段めがねでもコンタクトがつけられる方は、そのほうが良い場合も多いです。